

耳鼻咽喉科領域の社会保険点数早見表・診療所



平成28年4月1日(日本耳鼻咽喉科医会)

初診料

	時間内	時間外	休日	深夜
6歳以上	282点	367点	532点	762点
6歳未満	357点	482点	647点	977点

夜間・早朝等加算+50点:初診・再診の診療時間内で、平日(午前6時~8時、午後6時~10時)、土曜(午前6時~8時、正午~午後10時)【標榜診療時間が週30時間以上の診療所、診療時間を掲示】

再診料

	時間内	時間外	休日	深夜
6歳以上	72点	137点	262点	492点
6歳未満	110点	207点	332点	662点

外来管理加算 +52点:患者本人でも簡単な症状の確認等を行ったのみで、継続処方は算定不可
 時間外対応加算1(24時間対応)+5点 受診していた患者の電話等の問い合わせに、標榜診療時間外対応加算2(準夜帯に対応)+3点 時間以外の指定時間帯に対応可能な診療所 要届出
 明細書発行体制等加算+1点:レセプト電子請求の実施、明細書の無料発行及びその旨の院内掲示の診療所

投薬料

使用薬剤	調剤	院内処方	薬剤	
内服薬及び浸煎薬	9	処方料(6剤以下)	42	1剤1日分
頓服薬		3歳未満加算	+3	1回分
外用薬	6	薬剤情報提供料	10	1調剤
		手帳記載加算	+3	

外来後発医薬品使用体制加算1(70%)+4点、外来後発医薬品使用体制加算2(60%)+3点 要届出
 処方せん料(処方料包括)交付 1回付き 6種類以下 68
 注3 3歳未満加算 +3 7種類以上 40
 注7 一般名処方加算1(全品目)+3点 一般名処方加算2(1品目以上)+2点
 薬剤総合評価調整管理料(外来で6種類以上の内服薬を1月以上処方後、2種類以上減少) 250点

耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料 150点

月1回算定。15歳未満の反復・遷延する滲出性中耳炎に限る。但し、初診の日から1月以内は、初診料に含まれる。
 高度難聴指導管理料(1回限り) 420点
 イの人工内耳埋込術以外 要届出
 薬剤料:処置・手術・麻酔・検査で薬価が15円以下は算定できない。

注射料

皮内・皮下筋肉内(1回)	20	=鼓室内薬液注入	
静脈内注射 (1回)	32	6歳未満加算(点滴・静注)+45	
点滴注射	6歳未満	98	1日の注射量100cc未満
	6歳以上	49	1日の注射量500cc未満
検体採取料(1日につき)		6歳未満加算	+20
・静脈(6歳以上)	25	・耳朶・尖指(6歳以上)	6
・鼻腔・咽頭拭い液採取(インフルエンザ等)	5		

自覚的聴力検査	平衡機能検査	扁桃マッサージ法	40	*内視鏡下生検法(1臓器)	310	皮内反応検査1日につき
1. 標準純音聴力検査	1. 標準検査(一連)	電気味覚検査(濾紙ディスク法)	300	組織試験採取、切採法		21ヶ所以内(1ヶ所につき)
自記オーゾオメーター	2. 刺激又は負荷を加える	補聴器適合検査 1回目	1,300	1. 皮膚・筋肉	500	1種につき
2. 標準語音聴力検査(ことば)	特殊検査(1種目)	2回目以	700	4. 耳	400	皮内反応検査(+薬剤標準使用量0.2mL)
3. 簡易聴力検査(一連)	3. 頭位及び頭位変換振振検査	*内視鏡検査(月内2回目 90/100)		5. 鼻・副鼻腔	400	減感作療法(+薬剤標準使用量0.2mL)
気導純音聴力検査	イ. 赤外線CCDカメラ等による場合	・緊急内視鏡を外来患者に実施した場合	300	6. 口腔	400	アレルギースクラッチ検査
5. 内耳機能検査、耳鳴検査(一連)	ロ. その他の場合	時間外+40% 休日又は深夜+80%	400	7. 咽頭・喉	650	(+薬剤標準使用量0.05mL)
6. 中耳機能検査(一連)	浮遊耳石置換法を、イカロの検査と同時に	中耳ファイバースコピー	240	8. 甲状腺	650	鼻粘膜誘発試験(+鼻粘膜誘発薬剤料)
他覚的または行動観察による聴力検査	実施しても検査料しか算定できない。	鼻咽腔直達鏡検査	220	リンパ節等穿刺・針生検	200	非特異的IgE半定量・定量(各1項目) 100
1. 鼓膜音響インピーダンス検査	4. 電気振振図(一連)	嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部	260	病理診断料 1. 組織診断料	400	特異的IgE半定量・定量(各1項目) 110
2. チンパノメトリー	4誘導以上	ファイバースコピー(一連)	600	病理診断料 2. 細胞診断	200	好酸球(鼻汁・喀痰) 15
3. 耳小骨筋反射検査	5. 重心動揺計	喉頭ファイバースコピー	600	細菌顕微鏡検査 3. その他	61	血液学的検査判断料 125
4. 遊戯聴力検査	音声言語医学的検査	内視鏡下嚥下機能検査	600	細菌培養同定検査		末梢血液一般検査 21
5. 耳音響放射検査(OAE)	1. 喉頭ストロボスコピー	食道ファイバースコピー	800	・耳漏(その他)	160	(Hb、Ht、血球数、血小板数)
イ. 自発耳音響放射(SOAE)	2. 音響分析	気管支ファイバースコピー	2,500	・口腔、気道、消化器、扁桃	160	好酸球数 17
ロ. その他の場合	3. 音声機能検査	*他医療機関内視鏡写真診断料	70	細菌薬剤感受性検査		末梢血液像(自動機械法) 15
鼓膜音響反射率検査	鼻腔通気度検査(手術前後3カ月・他)	超音波検査1. Aモード	150	1. 1菌種 170 2. 2菌種	220	末梢血液像(鏡検法) 25
耳管機能測定	嗅覚検査 1. 基準嗅覚検査	抗ストレプトリジノ(ASO)定性・半定量・定量(各1項目)	15	3. 3菌種以上	280	出血時間 15
3. 聴性誘発反応検査	2. 静脈性嗅覚検査	抗ストレプトキナーゼ(ASK)定性・半定量(各1項目)	29	クラミジア・トラコマチス抗原定性	164	尿中一般物質定性半定量検査 26
4. 聴性定常反応	蝸電図	A群β溶連菌迅速試験定性	134	ウイルス抗体価	79	尿沈渣(鏡検法) 27
☆対称器官に係る保険点数は、特に規定する場合を除き、処置料及び検査料は両側でも片側でも同じ点数で、手術料は片側だけの点数を示す。		肺炎球菌細胞壁抗原(定性)耳漏・鼻汁	204	インフルエンザウイルス抗原定性	147	・外来検査迅速検体検査加算 1項目 +10
		インフルエンザ菌(無莢膜型)抗原定性 耳漏・鼻汁	150	アデノウイルス抗原定性(×糞便)	200	当日検査結果を文書で情報提供 5項目まで

耳科診療を主として		鼻科診療を主として		咽喉科診療を主として		麻 酔	
耳処置(耳浴及び耳洗浄を含む)	25	鼻処置(口、咽処置併施含)	12	うがい薬 単独処方	適応病名必要	☆麻酔の年齢加算	
鼓室処置(片側)	55	(含鼻吸引、単純鼻出血、及び鼻前庭処置)		口腔・咽頭処置(単独又は鼻処置と併施しても)	12	・未熟児(体重2.5Kg)・新生児(28日未満)加算	
耳垢栓塞除去(複雑)	片100 両150	副鼻腔自然口開大処置	25	扁桃処置	40	+200%	
	[6歳未満] 片150 両200	副鼻腔洗浄又は吸引(含注入)(片側)		扁桃周囲膿瘍試験穿刺	180	・乳児(1歳未満)・幼児(1~3歳未満)加算	
外耳道異物除去術 1.単純 2.複雑	220 710	1. 治療用カテーテル使用の場合	55	扁桃周囲膿瘍穿刺	180	+50%、 +20%	
耳茸摘出術	830	2. 1以外の場合	25	扁桃周囲膿瘍切開術	1,830	表面・潤滑・簡単な伝導麻酔は、薬剤料のみ	
鼓室穿刺(片側)	50	上顎洞穿刺(片側)	60	間接喉頭鏡下喉頭処置(喉頭注入含む)	27	静脈麻酔 1.短時間 120	
鼓膜切開術(イオンフォレーゼ加算 +45)	690	副鼻腔手術後の処置(片側)	45	ネブライザー(喉頭及び喉頭下)	12	2.十分な体制・長時間(単純) 600	
耳管処置(含通気、鼓マ、鼻内処置)		ネブライザー	12	超音波ネブライザー(1日につき)	24	筋肉注射による全身麻酔、注腸による麻酔 120	
1.カテーテル耳管通気法(片側)	30	超音波ネブライザー(1日につき)	24	唾液腺管洗浄(片側)	60	神経ブロック(局麻剤使用)	
2.ポリリツエル耳管通気法	20	鼻出血止血法(ガーゼタンポン、バルーン)	240	唾液腺管プジー法(片側)	45	2.蝶形口蓋神経節ブロック 1,500	
耳管プジー法(含通気、鼓マ)(片側)	45	鼻咽腔止血法(ベロック)	440	咽頭異物摘出術 1.簡単なもの	420	4.顔面痙攣にボツリヌス毒素を用いた場合 400	
皮膚科軟膏処置 100cm ² 未満 (削除)		副鼻腔炎術後後出血止血法(加算あり)	6,660	2.複雑なもの	2,100	5.星状神経節・顔面神経ブロック 340	
1.100cm ² ~500cm ² 未満	55	鼻内異物摘出術	690	喉頭異物摘出術 1.直達鏡によらないもの	2,920		
皮膚科光線療法 赤外線・紫外線(1日につき)	45	鼻骨骨折徒手整復術(脱臼整復術)	1,640	2.直達鏡によるもの	5,250	検体検査判断料	
穿刺排膿液注入	45	鼻腔粘膜焼灼術	900	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	3,200	1.尿・糞便等検査判断料 34点	
血腫・膿腫穿刺	80	下甲介粘膜焼灼術	900	気管支異物除去術 1.直達鏡	9,260	2.血液学的検査判断料 125点	
耳介血腫開窓術	380	下甲介粘膜レーザー焼灼術(両側)	2,910	喉頭腫瘍摘出術 1.間接喉頭鏡によるもの	3,420	3.生化学的検査(Ⅰ)判断料 144点	
耳管狭窄ビニール管挿入術	1,420	鼻甲介切除術 1.高周波電気凝固によるもの	900	2.直達鏡によるもの	4,310	4.生化学的検査(Ⅱ)判断料 144点	
鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	2,670	2.その他のもの	2,310	喉頭・声帯ポリリープ切除術		5.免疫学的検査判断料 144点	
(イオンフォレーゼ加算 +45)		粘膜下下甲介骨切除術	2,960	1.間接喉頭鏡によるもの	2,990	6.微生物学的検査判断料 150点	
経鼓膜換気チューブ(1)短期留置型	4,290円	内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型(下鼻甲介手術)	5,520	2.直達喉頭鏡・ファイバースコープ	4,300	7.病理判断料(N007) 150点	
032 (2)長期留置型	2,320円	内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型(骨、軟骨手術)	5,520	喉頭腫瘍切開術	2,140	リハビリテーション(参考までに)	
鼓膜穿孔閉鎖術(一連)	1,580	鼻茸摘出術	1,090	喉頭浮腫乱切術	2,040	集団コミュニケーション療法料(1単位) 50	
皮膚切開術 1.長径10cm未満	470	内視鏡下鼻腔手術Ⅱ型(鼻腔内手術)	3,170	がま腫切開術	820	○言語療法士が言語訓練 要届出	
創傷処理 4.長径5cm未満	470	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ型(副鼻腔自然口開窓術)	3,600	唾石摘出術 1.表在性のもの	640	摂取機能療法(1日に30分) 要届出 185	
創傷処置 1.100cm ² 未満	45	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型(副鼻腔単洞手術)	10,000	2.深在性のもの	3,770	イ.経口摂取回復促進Ⅰ 185	
2.100cm ² ~500cm ² 未満	60	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的複数洞副鼻腔手術)	24,500	頬・口唇・舌小帯形成術	560	ロ.経口摂取回復促進Ⅱ 20	
救急処置		終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定	100	アデノイド切除術	1,600	単純撮影(頭部・胸・腹・脊椎)	
1.救命のための気管内挿管	500	終夜睡眠ポリグラフィー		口蓋扁桃手術 1.切除 1,430 2.摘出 3,600		単純撮影イ頭部、造影剤使用	
2.人工呼吸(30分まで)	242	1.携帯用装置を使用した場合	720	扁桃除去後止血処置(翌日以降)	1,900	写真診断 85 72	
3.非開胸的心マッサージ(30分まで)	250	2.多点感圧センサーの睡眠評価装置を使用	250	診察情報提供料Ⅰ	250	写真撮影・アナログ 60 144	
備 考		3.1及び2以外の場合	3,300	○他の医療機関または保険福祉関係機関		写真撮影・デジタル 68 154	
緊急時加算2:手術・麻酔・150点以上の処置・内視鏡		脳波検査判断料2(月1回)	180	・患者退院時加算	+200	電子画像管理加算 57 66	
時間外 +40% 休日又は深夜 +80%		在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2	250	検査・画像情報提供加算ロ.(外来時)要届出	+30	写真撮影:新生児、乳幼児(3歳未満)、幼児(3~6歳未満)加算	
☆手術:乳幼児(3歳未満)加算、幼児(3~6歳未満)加算		経鼻的持続陽圧呼吸療法用治療器加算2(3月3回) +1,100		電子的診察情報評価料 要届出	30	+80%、+50%、 +30%	
+100%、 +50%		在宅持続陽圧呼吸療法材料加算(3月3回) +100		診察情報提供料Ⅱ	500	フィルム 八ツ切5点、六ツ切5点	
写真診断(他医療機関撮影)1.単純撮影イ頭部E00	85	カウンターショック(1日につき)		○セカンドオピニオン		6歳未満・乳幼児(×1.1) 八ツ切5点、六ツ切5点	
3.造影剤使用撮影	72	1.非医療従事者向け自動徐動器を使用	2,500	疾病手当金意見書交付料	100	嚥下造影 240	
コンピューター断層診断(他医療機関撮影)初診時	450	2.その他の場合	3,500	喀痰吸引(1日につき) [6歳未満+83]	48	外来:時間外・休日・深夜・診断・撮影料に	
				酸素吸入(1日につき) 65+P/10円	65	時間外緊急院内画像診断加算 +110	